

Title	北朝鮮問題年表
Author(s)	小田川, 興
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.53 別冊, 2012.3 : 95-99
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4252
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

北朝鮮問題年表

〈●南北対立, ○接近, ◎多国間, ★核問題, ☆非核志向〉

- 年 月
- 1950 6 ★ 朝鮮戦争勃発→53年7月 休戦協定調印 (米国, 北朝鮮・中国)
- 1972 7. 4 ○ 南北共同声明発表 [自主・平和・民族大団結の祖国統一3原則]
- 1991 1 ◎ 日朝国交正常化へ初の政府間交渉 (平壤)
- 9 ○ 南北朝鮮, 国連に同時加盟
- 12 ○ 南北基本合意書に調印, ☆南北が朝鮮半島非核化共同宣言に仮調印
- 2000 6 ○ 金大中大統領訪朝, 南北首脳会談 (平壤) ⇒南北共同宣言
- 2002 9 ◎ 小泉首相訪朝 ⇒ 日朝平壤宣言 [*資料参照]
- 10 ★ ケリー米特使訪朝。米「北朝鮮がウラン濃縮計画認めた」と発表
- 2003 1 ★ 北朝鮮, 核不拡散条約 (NPT) 脱退を宣言
- 8 ◎ 第1回6者協議
- 2004 5 ◎ 小泉首相再訪朝。地村さん。蓮池さんの子供5人連れ帰国
- 2005 2 ★ 北朝鮮, 核保有を宣言
- 9 ◎ 6者協議で共同声明採択 [*]
- 2006 7 ★ 北朝鮮, 長距離弾道ミサイル「テポドン2号」発射
10. 9 ★ 北朝鮮, 地下核実験実施⇒10. 14 安保理, 対北制裁決議1718号を採択
- 2007 2 ◎ 北京で6者協議⇒2. 13 合意文書採択 [*] ⇒3月 米朝, 日朝作業部会開く
- 10 ○ 盧武鉉大統領訪朝, 南北首脳会談 (平壤)
- 2008 2 韓国, 李明博政権スタート
- 対北「非核・開放・3000」政策
10. 11 ◎ 米, 北朝鮮に対するテロ支援国家指定を解除

- 2009 4. 5 ☆ オバマ大統領, プラハで演説。「核兵器のない世界へ具体的な方策をとる」
- ★ 北朝鮮, 「テポドン2号」改良型発射
- 5.25 ★ 北朝鮮, 2回目の核実験
- 6.13 ★ 国連安保理, 対北制裁決議案(1874号)を採択=武器禁輸, 貨物船検査等
- 9.3 ★ 北朝鮮国連代表部, 国連議長あてに「ウラン濃縮に成功」との書簡送る
- 9.24 ☆ 安保理首脳会合で「核兵器なき世界」めざす歴史的決議を全会一致で採択
- 10.10 ◎ 北京で日中韓首脳会談。「6者協議の再開へ取り組む」と共同声明
- 11.10 ● 南北, 黄海で銃撃戦⇒2010. 1. 27~28 北, 北方限界線(NLL)へ砲撃
- 11.21 ◎ 中国, 中朝国境地帯に初の国家級「開発開放先導区」を承認
- 11.30 北朝鮮, デノミネーション実施=新通貨は100分の1に
- 2010 3.26 ● 韓国哨戒艦「天安」沈没事件⇒7.9 国連安保理, 北を間接非難の議長声明
- 5.3~7 ○ 金総書記が訪中。胡主席との会談で6者予備会合に前向き姿勢を示す
- 8.26~30 ○ 金総書記, 再訪中。長春で胡主席と会談し6者協議再開に言及(新華社)
- 9.27 金総書記の3男正恩氏に人民軍大将の称号授与⇒28 朝鮮労働党代表者会開く。正恩氏が党の中央委員・中央軍事委員会副委員長に=3代世襲体制に
- 11.20 ★ 訪朝した米の核専門家, 北朝鮮が新たなウラン濃縮施設を公開したと明かす
- 11.23 ● 北朝鮮軍, 韓国領の延坪島を砲撃。2兵士死亡, 住民負傷

11. 28～12. 1 ◎ 米韓，黄海で合同軍事演習。原子力空母ジョージ・ワシントン参加
- 2011 1. 18 ☆ 胡主席訪米⇒19 首脳会談。胡主席が北朝鮮のウラン濃縮計画に懸念表明
5. 20 ◎☆ 金総書記が訪中（前年5月以来1年間で3回）⇒北京で胡主席と会談。6者協議の早期再開で一致
5. 22 ◎ 日中韓首脳会談（東京）。6者協議再開には「南北対話が必須」と宣言
7. 22 ○☆ 6者協議の南北首席代表が会談（バリ島）
7. 28～29 ☆ 米朝協議，1年7カ月ぶり再開（NY）⇒10.24～25 スイスで再開
8. 20～27 ◎ 金総書記，ロシア・中国を歴訪（故金主席以来50年ぶり）。メドベージェフ大統領と会談，パイプライン建設協力で合意。中国大慶を視察
12. 17 金総書記死去⇒28 国葬。金正恩体制に移行
12. 25～26 ◎ 日中首脳会談（北京）。「朝鮮半島安定へ連携」。胡氏，6者再開へ意欲
12. 30 金正恩氏の軍最高司令官に就任を労働党が決定
- 2012 1. 5 ◎ オバマ大統領，国防費削減へ新軍事戦略を発表。アジア・太平洋地域を重視
1. 9 ◎ 李明博大統領，中国訪問。首脳会談で「朝鮮半島安定化へ努力」で合意。両国関係改善へ共同文書を発表
2. 14 労働党中央委員会など，金総書記に大元帥称号の授与決定。平壤で銅像序幕
- 2012 2. 23～24 ☆ 米朝，北京で核問題協議〔2012. 2. 25現在〕

【核問題】 ☆☆☆ 6者協議の重要な合意

☆ 2005年9月19日、共同声明採択

【骨子】北朝鮮が多国間の枠組みで初めて核放棄を約束 ○6者協議の目標は朝鮮半島の検証可能な非核化 ○北朝鮮はすべての核兵器と既存の核計画を放棄。NPTとIAEAの保障措置に早期復帰を約束 ○米国は朝鮮半島で核兵器を持たず、北朝鮮を核や通常兵器で攻撃・侵略する意図はないと確認 ○北朝鮮は原子力の平和利用の権利を持つ旨を発言。他国はその発言を尊重する旨を述べた ○米国と北朝鮮は相互の主権を尊重、平和共存し、関係正常化のための措置をとる ○日本と北朝鮮は平壤宣言に従って過去を清算し、懸案事項を解決し、国交正常化のための措置をとる

☆ 07年2月13日、朝鮮半島非核化への初期段階措置を決めた合意文書採択

【要点】○米朝は外交関係樹立の為の協議開始 ○日朝は国交正常化協議を開始 ○作業部会設置—朝鮮半島非核化，米朝国交正常化，日朝国交正常化，北東アジアの平和・安全メカニズム等5部会

☆ 6者協議再開へ米側が北朝鮮に求める条件

- ・ウラン濃縮活動の即時停止
- ・国際原子力機関（IAEA）監視要員の復帰
- ・2005年9月共同声明の順守
- ・弾道ミサイルを発射しない
- ・朝鮮戦争休戦協定の順守

【日朝関係】

◎◎◎日朝平壤宣言 2002年9月17日 小泉純一郎首相+金正日総書記

▽過去清算——日本は、植民地支配に「痛切な反省と心からのお詫び」表明
▽日本人拉致問題——「国際法を遵守」「互いの安全を脅かす行動をとらない」。「日本国民の生命と安全にかかわる懸案問題」で、北朝鮮は「日朝が不正常な関係にある中で生じた遺憾な問題」が再発しないよう「適切な措置をとる」＝金総書記は拉致事実認め謝罪／北朝鮮は「8人死亡，5人生存」⇒10

月に生存者帰国／2004年5月，小泉首相再訪朝し地村さん，蓮池さんの子供5人と帰国／7月，ジェンキンスさん日本に⇒めぐみさん遺骨問題で日朝関係は暗礁に／北朝鮮は再調査約束／2010. 11民主党政権は真相究明など8項目対策を決定

▽核問題——「関連するすべての国際的合意を遵守」＝米朝枠組み合意をクリアー

◆◆◆北朝鮮問題解法の要点 〈『北朝鮮問題をどう解くか』聖学院大総合研究所刊〉

1. 冷戦終結の波を朝鮮半島にどう引き寄せるか——朝鮮戦争の傷跡
2. 朝鮮半島の政治構造を深く考慮する＝【3要素】歴史，地政学，民族
3. 対決構造を解く＝日本の植民地支配清算，南北当事国＋日米中口の協調